

各位

武雄・杵島地区農業指導連絡協議会
杵島農業改良普及センター

「麦作情報（第3号）」について（送付）

このことについて、下記のとおり「麦作情報（第3号）」を送付しますので、業務の参考にしてください。

この情報はホームページ

<https://www.pref.saga.lg.jp/kiiji00323270/index.html>

にも随時公開しています。

杵島農業改良普及センター

検索

1. 気象概況

月	半旬	平均気温			最高気温			最低気温			降水量			日照時間		
		平年 (°C)	R1 (°C)	平年差 (°C)	平年 (°C)	R1 (°C)	平年差 (°C)	平年 (°C)	R1 (°C)	平年差 (°C)	平年 (mm)	R1 (mm)	平年比 (%)	平年 (hr)	R1 (hr)	平年比 (%)
R2 1月	5	4.4	9.7	5.3	9.2	14.3	5.0	0.2	6.0	5.9	10.1	40.0	396%	17.8	11.2	63%
	6	4.3	8.8	4.4	9.3	12.4	3.1	-0.1	5.9	6.0	10.6	26.5	250%	23.6	9.6	41%
2月	1	4.7	5.8	1.1	9.8	12.0	2.2	0.1	0.7	0.6	8.2	0.0	0%	21.5	35.7	166%
	2	5.4	5.1	-0.3	10.7	10.3	-0.4	0.6	-0.1	-0.7	9.8	0.0	0%	22.8	22.6	99%

1月5半旬～1月6半旬は高温多雨で推移した。平均気温は平年より4.9 高く、降水量は平年比323%であった。日照時間は長雨の影響により平年比52%とあった。

2月1半旬～2半旬は気温は平年並み、降雨もなく日照時間は長く推移した（平年比132%）

2. 麦類情報田の生育状況（調査日：2月7日）

品種		草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉齢 (L)	葉色 (SPAD 値)	備考
シロガネコムギ (11月23日播種)	本年値	24.4	779	6.5	46.6	<ul style="list-style-type: none"> ・草丈は平年よりかなり高い。 ・茎数は平年よりかなり多い。 ・葉齢は平年に比べ1.8葉進んでいる。 ・葉色は平年に比べ濃い。
	過去5カ年平均値	14.3	407	4.7	43.6	
	対比	(170%)	(191%)	(+1.8)	(+3.0)	
	農試参考値	28.7	796	6.2	-	
	農試平年比	(165%)	(134%)	(+0.3)	-	
サチホゴールデン (11月30日播種)	本年値	18.5	935	6.6	40.5	<ul style="list-style-type: none"> ・草丈は平年よりかなり高い。 ・茎数は平年より多い。 ・葉齢は平年に比べ1.7葉進んでいる。 ・葉色は平年に比べ薄い。
	過去5カ年平均値	12.6	806	4.9	44.2	
	対比	(147%)	(116%)	(+1.7)	(-3.7)	
	農試参考値	17.8	891	5.3	-	
	農試平年比	(176%)	(214%)	(+1.0)	-	

参考は農試作況の1月20日調査データ（播種日はシロガネコムギ：11/20、サチホゴールデン：12/10）

葉色(SPAD 値)については昨年度の値と比較している。

今年のサチホゴールデンは播種後の降雨の影響で出芽がやや遅れた。

(耕種概要)

品種	設置場所	播種期	播種量	前作	栽培様式
シロガネコムギ	武雄市橘町	11月23日	10kg/10a	大豆	畦立て4条播き (畦幅1.52m)
サチホゴールドン	白石町新明	11月30日	7kg/10a	大豆	畦立て8条播き (畦幅1.56m)

3. 生育概況

11月中下旬に播種されたほ場は生育が早く進んで現在6～8葉期となっており、茎立ち期を迎えています。12月上旬に播種された圃場も、その後の暖冬傾向で生育は進み、現在5～6葉期となっています。気温が高く推移したため、生育が早く茎立ちしている圃場も多く見受けられます。11月中旬播きはほとんどの圃場で節間長が3cmを超えています。情報田11月23日播き小麦では主茎2.4mm、節間12.5mm、11月30日播き大麦では主茎2mm、節間5.5mm確認できています。穂肥施用可能な時期(平年は2月下旬～3月上旬)を迎えている圃場も見受けられますので、今後の管理作業も前倒しで行うように注意してください。



4. 今後の管理

(1) 施肥

本年は気温が高く、出芽やその後の生育も早いいため、11月20日程度までに播種された圃場では、特に生育が進んでおり、幼穂形成始期(幼穂長1mm)や節間伸長始期(節間長5mm)を過ぎているので、節間長を確認して穂肥を施用する。茎立ち(節間長2～3cm)を過ぎている圃場では、麦踏すると節間が折れて減収するため、麦踏機による施肥は避けて、動力散粒機やブロードキャスター等で散布する。

また、晩播圃場では麦が3～4葉期になったら、追肥を速やかに施用する。(追肥の施用量は各地区の栽培暦を参考にする)

(2) 麦踏み<本葉3葉期以降>

麦の3葉期から茎立ち(節間長2～3cm)までの期間に作業を実施する。早播きや排水条件の良い圃場など生育が急いでいる圃場では、間隔を短くして実施するように心がける。ただし、11月25日までに播種された圃場では、節間を確認して、3cmを超えている場合は、麦踏を中止する。また、土壌水分が高い時(土壌表面が黒乾状態以上に土壌水分が高い場合)に実施すると根痛み等麦に悪影響を及ぼすので、十分注意する。

(3) 土入れ<本葉5葉期以降>・排水対策

土入れは麦5葉期頃から作業を実施するのが基本である。ただし、排水が悪い圃場(降雨後の停滞水が残しやすい)においては排水対策を重視する。本年は生育が進み、雑草の発生も多いので、そのような圃場では、土入れの量は多めに行う。

特に、排水口と畦溝がつながっておらず、退水が悪くなるケースがあるので、枕部を横断するように退水路を設けるようにする。また、場合によっては排水口を増設するなど環境を整える。

(4) 雑草防除

- 一部の圃場では雑草発生が目立ちます。土入れによる雑草の耕種的防除を実施するとともに、雑草発生が多い圃場では、草種に応じ、散布遅れによる取りこぼしが無いよう、適期に除草剤の処理を実施してください。また、麦の生育が旺盛になると、雑草に除草剤が十分付着せず、除草効果が不十分となるので注意する。
- なお、ハーモニー75DF水和剤の散布適期はスズメノテッポウ5葉期まで、カズノコグサ1～3葉期までで、生育の進んだ雑草には効果が劣るので時期を逸さないように注意する。また、使用時期は「麦1葉期～節間伸長前まで」(小麦は穂ばらみ期まで)なので、ハーモニーを使用する際は麦の生育状況についても併せて留意ください。
- カラスノエンドウは麦の収穫時に混入する可能性が高いため、毎年発生している圃場や、すでに発生がみられる圃場では、アクチノール乳剤による防除を徹底してください。
- 本年は気温が高いため、雑草発生も多いです。特に、元草の多発生圃場などは今後も雑草の多発生が心配されます。土入れと併せて以下の除草剤活用により雑草抑制に努めましょう。
- 除草剤の効果を保つため天気予報を見ながら、降雨が予想される場合は除草剤の散布を避けてください。

除草剤散布後は、以下のことに注意しましょう

除草剤散布後に薬剤の影響で葉が黄色くなっている時に「麦踏み」を実施すると、麦へのダメージがさらに大きくなるため生育が回復するまで「麦踏み」は控えましょう。
 除草剤散布後すぐに「土入れ」を行うと、雑草の蒸散作用が抑制され、除草剤の雑草への効果が妨げられるため、散布後すぐの「土入れ」は控えましょう。(雑草が大きい場合は、散布してから土入れまでの期間を5～7日間は空ける)

- 農薬散布については、周辺作物にかからないよう注意して散布しましょう

表 生育期除草剤使用例

農薬名	薬量 (/10a)	希釈数量 (/10a)	使用方法	使用時期	備考
ハーモニー 75DF 水和剤	5～10g	100L	雑草茎葉散布	は種後～節間伸長前 (スズメノテッポウ5葉期まで) (カズノコグサ1～3葉期まで) <u>小麦のみ</u> は種後～穂ばらみ期まで 但し収穫45日前まで	1年生広葉雑草 スズメノテッポウ カズノコグサ タデ類
アクチノール 乳剤	100～200ml	70～100L	"	穂ばらみ期まで (雑草生育初期) (広葉発生揃い～6葉期, ヤエムグラ～4葉期)	1年生広葉雑草 カラスノエンドウ タデ類 イネ科雑草には効果無し
エコパート フロアブル	50～100ml	100L	"	節間伸長開始期まで (広葉2～4葉期) (ヤエムグラ2～6葉期) 収穫45日前	1年生広葉雑草 ヤエムグラ イネ科雑草には効果無し
バサグラン 液剤	100～200ml	70～100L	"	生育期(雑草3～6葉期) 小麦: 収穫45日前 大麦: 収穫90日前	1年生雑草 イネ科雑草には効果無し

ハーモニーを使用する際は周辺作物(特にタマネギ)への注意が必要。